

消防団活動の紹介



消防団員は平常時・災害時を問わずその地域に密着し、地域の安全・安心を守っています。消火活動はもちろん、地震や風水害などの災害時に避難誘導や警戒活動にあたるとともに、普段は訓練や市民への防火指導などに取り組んでいます。

平常時の活動

防火・防災広報啓発活動

地域住民の防火・防災意識の向上を目的として、春と秋の火災予防運動時に広報活動を行います。また、地域のイベントなどに参加し、防火・防災に関する啓発活動にも取り組んでいます。

防火・防災訓練

各地域で建物や林野火災が発生した場合を想定し、消火訓練を実施します。また、市や地域が行う各種防災訓練に参加し、いざ災害が発生した時を想定した危険箇所の点検や、消防団の役割・活動などについて、日頃から訓練を実施します。



あなたの子わらが

まちの明日を

つくってる。

災害発生時にいち早く現場に駆けつける消防団。地域防災力の要として活躍している消防団員は、実際にどのような活動をしているのか。消防団の活躍に迫ります。
問 市安全安心課 ☎ 0994-31-1124

災害時の活動

消火活動

いち早く火災現場に駆けつけ、消火活動を行うことで被害を最小限に抑えます。鎮火後も再び火災が発生しないように見張りを続けます。

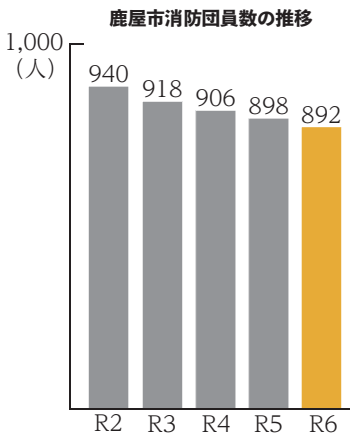
水防活動

台風や集中豪雨によって河川の氾濫や浸水による被害が発生しないように、土のう積みなどの防災活動を行います。



救助活動

地震や水害などの大規模災害発生時に、救助・救出・警戒・避難誘導などを実施します。また、行方不明者の搜索活動も行います。



消防団員数の減少・高齢化が全国的にも問題となっています。鹿屋市消防団の平均年齢は47.6歳で、定数1,055人に対し、それを下回る人数で活動しており、若手消防団員の加入が喫緊の課題です。消防団員が減少してしまうと、火災時の迅速な初期消火や人命救助、災害などの対応が難しく

なり手不足が課題

消防団は、消防組織法に基づいて各市町村に設置されている消防機関です。令和6年4月1日現在、鹿屋市消防団には892人の消防団員が在籍し、そのほとんどが自分の仕事と消防団活動を両立させています。その職種は様々で、仕事と家庭に忙しい中「自分たちのまちは自分たちが守る」という使命感で活動しています。

消防団ってなに？

消防団員募集中心！

あなたも消防団員として地域貢献をしませんか？多くの人が自分の仕事や家庭を持ちながら活動しています。消防団に興味のある人は気軽に市安全安心課までお問い合わせください。

消防団に入団したのは、消防車両を運転してみたいという憧れもありましたが、火事を目撃した時にただ見ていただけではなく、自分にも何かできることはないかという思いがあったからです。まだ入団したばかりですが、目標である消防操法大会に出場できるように、またいざという時に現場でも様々な活動に従事できるようにこれから訓練に励みます。

私にもできることが



鹿屋市消防団川東分団
みやまの あかね
宮園 茜音 さん

消防団は地域防災の要として、いつ・どこでも起こり得る災害から市民の生命と財産を守るために活動しています。私は入団して53年目になりますが、現場に1番に駆けつけて市民のために活動できることや、何よりも同じ目的のために一緒に活動する「仲間づくり」ができることが消防団の魅力だと感じています。こうした仲間の輪が少しでも広がり、市民の信頼と期待に応えられるよう、これからも活動に取り組んでいきます。あなたも地域を守る消防団の仲間になって、一緒に活動しましょう。

消防団は仲間づくり

なるため、これからの世代である若い方々に少しでも消防団に興味を持ってもらえたらと思います。



鹿屋市消防団
いのうえ 芳徳 団長